

## 「保育」の原点

## ジョージ・Wブッシュ元大統領

文 葛西得男

Text by Tokuo Kasai

ジョージ・Wブッシュ第41代アメリカ大統領が94歳で逝去されました。81年にはレーガン政権下において副大統領としてレーガン大統領を支え、大統領就任後の89年にはソ連のゴルバチョフ共産党書記長とマルタ会談を行い、東西冷戦終結宣言したことは有名な話です。

私はレーガン氏に可愛がっていたので、よくお会いできたところにブッシュ氏にも何度かお目にかかりましたが、とても謙虚な人であり、愛国者で実務家というのがピッタリなように思います。8年間副大統領としてレーガン氏を支え、結果的に停戦と軍拡競争の終結をもたらしたと言えるでしょう。

私が思うにレーガン氏はスター性が



ジョージ・Wブッシュ大統領ホワイトハウスブルームにて

あり、夢を語り、実際には実務家としてブッシュ氏が実現していくところでしょうか。真のパートナーであり、現実主義者であったと思います。

レーガン氏が夢を語り、ブッシュ氏がそれを現実のものに落とし込んでいく。まさにグッドパートナーであった副大統領と思います。ブッシュ氏は持ち前の誠実さ、謙虚さで大統領時代を合わせ20年にもわたってホワイトハウスに関係することとなりました。政治というものが彼の天職だったのでしょ

う。ブッシュ氏というと、決して忘れることの出来ないのがバーバラ夫人のことです。バーバラ夫人にも随分可愛がっていただきました。この本にも以前書かせていただきましたが、バーバラ夫人が福祉関係のお仕事をされていた時に、「阪神淡路大震災」が発生し、救援物資を送っていただいたことは、記憶に残る感謝に絶えない思い出です。

政治の世界だけでなく、何かを実現しようとする時、夢を語り、引っ張っていくようなカリスマ性を持った人物と、実務家というような現実に落とし込む人物が揃った時に物事が成就するように思います。ブッシュ氏はまさに

後者でした。政治家というより、学者に近いイメージがありました。スピーチも堅いですが、安定感のある大統領でした。

世界は今、混沌とした時代背景の渦中にあるように思います。また現在のアメリカ合衆国も同じように混沌としているかのようには思えません。私は何か安定した政治というか、安定感のある大統領像のようなものが今の時代に必要なのではないかなと思います。

## Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人松福会理事長に就任。松福会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西副社長時代に国連UNEP環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

